



台木・苗木づくり講習会

9月29日、平川市主催の「台木・苗木づくり講習会」が平川市内の生産者のりんご園地で行われ、りんご生産者や関係者54人が参加しました。

2年連続の雪害により、りんごの台木や苗木が不足している状況となっています。こうした中、産地の生産基盤を守るため、生産者自らが台木・苗木の作り方や管理方法を学ぶことを目的に開催されました。

講習会では、株式会社原田種苗の職員を講師に迎え、台木を増やす方法や育て方、苗木に仕立てるまでの管理方法などについて説明を受けました。参加者は、講師から接ぎ木の手順やポイントを教わりながら、実際に台木への接ぎ木作業に挑戦。講師の手ほどきを受けながら一つひとつ作業を進め、接ぎ木の技術を実践的に学びました。



講師の説明を聞く生産者



シャインマスカット出荷説明会

9月14日、尾上東部りんごセンターで「シャインマスカット出荷説明会」が行われました。説明会では、市場情勢や出荷に関する説明のほか、令和8年産シャインマスカットの生育状況について説明が行われました。

配布された資料をもとに、カラーチャートで適期収穫時期の色について、荷受け方法や受付時間、収穫時の注意点、房の形や粒ぞろいによる等級の違いの確認を行いました。また中東情勢による資材の価格上昇など、出荷を取り巻く状況についても説明が行われました。



シャインマスカット出荷説明を行うJA職員



野球大会に当JA野球部が出場

9月27日、平川市尾上野球場で「第12回平川市長杯軟式野球大会」が行われ、当JA野球部が出場しました。

参加した職員は、お互いに声を掛け合いながらチーム一丸となってプレーしました。惜しくも結果は勝利とはなりませんでした。スポーツを通じて職員同士の交流を深め、親睦を図るとともに楽しく汗を流しました。



試合開始の挨拶をするJA野球部員(右)



令和8年産米程度統一会

9月17日、黒石低温1・2号倉庫で、「令和8年産米程度統一会」が行われ、青天の霹靂と、はれわたりの2品種について、等級判定を行いました。

程度統一会では、検査員が実際の玄米を確認しながら、整粒や着色粒、被害粒などの状態を確認し、等級を判定しました。検査員は、品位や品質について意見を交わしながら判定基準を確認し、判定のばらつきをなくすため、基準の統一を図りました。



米の等級を検査する検査員

